

ロンビニ地域における農村総合開発計画の目標（案）

開 発 区 分	長 期 計 画	短期計画（緊急）
1. 農村地域における生活 基盤の改善	(1) 電気・通信・郵便施設 等の整備 (2) 病院・保健所等の建設	(1) 飲料水の確保 (2) 集落間道路の建設
2. 農業生産活動に必要な 基礎的条件の整備	(1) 農地の整備 (2) 農道・耕作道の整備 (3) 導入作物の選定 (4) 植林・土壌保全	(1) 灌漑水の確保 (2) 基幹農道の整備 (3) 作付体系の確立
3. 農業生産活動の支援及 び人材育成施設の整備	(1) 組合組織の育成 (2) 研修・技術訓練施設の 建設・整備 (3) 教育施設（学校）の建 設	
4. 地域産業の発展に必要な 施設の整備	(1) 内水面魚業の育成 (2) 社会・福祉施設の整備 （特に女性の技術訓練） (3) 流通機構及び施設の改 善 (4) 観光施設の整備	

3-3 プライオリティープロジェクトに関する今後の検討事項

(1) かんがい計画の検討

当地方の雨期は6月から9月であるが、山岳地帯の立木伐採が激しく、保水力が乏しいため、降雨は鉄砲水となって一挙に流下する。このため河川のコントロールができず雨期においてもかんがい用水の確保が困難な地域が多い。

一方、平野部においては、各所に氾濫原野の形跡が見られ浸透性地盤を有することから乾期における中小河川の殆どは完全に干上がり、乾燥地帯を形成する。

このような状況下において、当地域は年間を通じて用水の不足を来たしており、農業生産は低位におかれている。

しかし、一方において平野部（Terai）では伏流水が比較的豊富といわれ、一部には地下水の自噴も見られる。

このため、灌漑計画に当っては、次の事項について検討することが必要と思われる。

## (2) 飲料水の検討

現在、町の中心部においては浅井戸（50 m程度）による飲料水の共同利用が行なわれているが、これは限られた地域であり、農村部においては遠方からの水運びが女性の重要な仕事となっている。

従って、農村部における飲料水確保が緊急な課題となっている。このため、飲料水の計画に当たっては次の事項について検討する必要がある。

- ① かんがい用水（井戸）との併用
- ② 井戸の配置と共同利用の範囲
- ③ 浄水装置の必要性

## (3) 集落道路及農道の検討

当地域の農業は今日まで人力及び畜力を主体としてきたため、農道らしきものはほとんど存在しない。（すべて畦畔を活用してきた）

しかし、近年畜力から徐々に動力に移行しつつあり、また農産物の搬入・搬出及び灌漑計画とともに農道の必要性が高まってきた。また一方において集落間の道路はコミュニケーションを高め、これが農村の開発に大きな意義を持つ。

このため、農道計画においては次の事項について検討する必要がある。

- ① 集落間道路（基幹農道）の配置及び構造
- ② 灌漑計画と農道の配置
- ③ Hill地域においては斜面畑におけるサク道（インクライン）の検討

## (4) 作物生産についての検討

生産性を高め農家収入の向上を図ることが、当面の大きな課題である。このため生産計画に当たっては次の事項について検討する必要がある。

- ① 灌漑地区及び非灌漑地区における導入作物の選定
- ② 換金性作物の導入
- ③ Hill地域においては果樹等永年作物の可能性
- ④ 育種、品種改良技術
- ⑤ 市場及び流通システム

S/W調査及び本格調査の留意点

事 項	S/Wでの確認事項	M/P調査での留意点
1. プロジェクト サイト	モデル地区4郡4地区の確認	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 位置及びモデル地域の現状</li> <li>2. モデル地区の面積</li> <li>3. プロジェクト実施の可能性</li> </ol>
2. 飲料水の確保	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) モデル地区の飲料水の実態</li> <li>(2) Hill 地域では沢水利用の可能性</li> <li>(3) Terai 地域においては地下水（井戸）の実態</li> <li>(4) 共同井戸の現状</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地質の状況</li> <li>2. 既存井戸の実態</li> <li>3. 地下水利用の可能性</li> <li>4. 共同利用施設</li> <li>5. 浄化槽の必要性</li> <li>6. 配水方式</li> <li>7. 維持管理方式</li> </ol>
3. 灌漑用水	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) かんがいの実態</li> <li>(2) 地下水利用状況</li> <li>(3) 地表水利用の可能性</li> <li>(4) 土地利用状況</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 土地利用状況</li> <li>(2) 灌漑の必要性</li> <li>(3) 深井戸の現状</li> <li>(4) 用水の確保               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地表水利用</li> <li>② 地下水利用</li> </ol> </li> <li>(5) ファームポンドの必要性</li> <li>(6) 用水路の配置，構造</li> <li>(7) 分水方式</li> <li>(8) 作付体系との関連</li> </ol>
4. 道 路	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 交通体形</li> <li>(2) 基幹道路の現状</li> <li>(3) 用地の確保</li> <li>(4) 市場との関連</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基幹道路及び農道の配置</li> <li>(2) 道路の規模及び構造</li> <li>(3) 集荷場との関連</li> <li>(4) 集落間道路の配置</li> </ol>
5. 作 物	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 作付体系</li> <li>(2) 生産性</li> <li>(3) 流通機構</li> <li>(4) 農家所得の現状</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 作付体系の整備</li> <li>(2) 永年作物の導入（Hill）</li> <li>(3) 増産対策</li> <li>(4) 流通機構の改善</li> </ol>

## IV ネパール政府との協議経過

調査団は現地調査及び関係機関との意見聴取等を基に、ルンビニ地域農村総合開発の進め方についてネパール政府と次のような協議を行なった。これはS/W調査の基礎となるものである。

### 4-1 調査対象地区の選定

ルンビニ県における農村総合開発は、全部が同じレベルで開発されることが望ましい姿であるが、同県が約9,000 ㎦という広い面積であることから計画に当っては、範囲を制限し、さらにプロジェクトの実施地域を限定しなければ協力の効果は薄れることになる。

調査団はネパール政府と協議の中でTerai 2郡及びHill 1郡の3郡をマスタープラン対象地域とすることを申し入れた。

しかし、ネパール側は両地域2郡ずつの4郡を対象とすることを主張したため、協議の結果調査団はこれを受け入れた。

#### <マスタープラン対象地域の選定>

- |          |   |                        |
|----------|---|------------------------|
| Terai 地域 | { | ① RUPANDEHI 郡の一部       |
|          |   | ② KAPILBASTU 郡         |
| Hill 地域  | { | ① ARGHAKHANCH 郡 ( 極貧 ) |
|          |   | ② GULMI 郡 ( " )        |

調査団は上記4郡におけるマスタープランの概念は第一段階として対象4郡においては「現状と今後の課題」を中心とした農村総合開発の方向性を示すこととし、第二段階として、それぞれの郡からモデル開発地区を選定し、将来、プロジェクトの実施を前提とした開発調査を進めることがより有効な手段であることを申し入れた。

ネパール政府(MPLD)は当初、一つの郡の中で各農家を対象とした小さなプロジェクトを数多く実施することを強く要望してきたが、調査団はそのような計画は国家間の協力方式として馴染まないことを主張し、モデル地区の開発を中心に順次波及させていくことが開発の基本であることを説得、了解を得た。

なお、モデル地区についてはS/W調査団の派遣までに、ネパール政府(MPLD)の責任において選定することを約束した。

4-2 ネパール政府との協議事項

協議事項	調査団の意見	ネパール側の意見	了解事項
1. プロジェクトの規模	個々の農家を対象とするプロジェクトは日本の協力方式に馴染まない。開発計画は一定の区域を設定し、その中で地域として必要度の高いプロジェクトを選定し実施に移していくものである。これが地域の総合的レベルUPにつながる。	農村開発については、余り大規模なものは計画倒れになる。貧しい農家を対象とした小規模なものを数多く実施できる計画が望ましい。	調査団の考え方に同意する。
2. M/P対象地域	調査団としてはTerai地域で2郡、Hill地域で1郡の計3郡を考えている。	ルンビニ県6郡のうち4郡を調査対象地域に含めたい。 ① Terai地域で2郡 ○ RUPANDEHI ○ KAPILVASTU ② Hill地域で2郡 ○ ARGHAKHANCHI ○ GULMI	ネパール側の意見を了解。M/P対象地域は4郡とする。
3. モデル地区の選定	調査対象4郡の中からそれぞれモデル区域を選定し、優先プロジェクトを実施できる計画を策定すべきである。 将来は、このモデル地区を中核とした開発の外延的拡大を図るべきである。	小規模な計画を数多く作り実施に移せないか。モデル地区の選定は難しい。	ネパール側調査団の意見を了解。S/W調査団派遣までにネパール政府としてモデル地区4カ所を設定する。
4. カウンターパート機関	ネパール政府のカウンターパート機関を明確にすること。	ネパール側の本調査にかかわるカウンターパート機関は、MPLDである。	MPLDがカウンターパートになることについて了解。

協議事項	調査団の意見	ネパール側の意見	了解事項
5. 関係機関調整会議の設立	MPLD がカウンターパートになることは了解するが、本開発計画は、農業省・道路省とも関連するので、ルンビニ農村開発のための関係機関調整委員会を設立すること。	その必要はない。 すでに中央・地方には、関係する省庁との調整委員会ができています。これを活用すればよい。	調査団 ネパール側の意見を了解。但しMPLDは必要に応じて調整委員会を開き、調査の円滑な推進に協力する。 なお、この委員会にはコンサルタントチームも参加できるようにする。
6. 優先プロジェクト	現地調査の結果では、各地域とも次の共通したニーズを確認した。 ①飲料水の確保 ②灌漑用水と施設の整備 ③農道・集落道路の建設 ④作物生産の拡大 ⑤電気導入	そのとおりである。 但し、電気導入は別のプロジェクトが考えられるので除外してもよい。	調査団了解する。優先プロジェクトとして ①飲料水 ②かんがい用水 ③道路 ④作物生産 の4点とする。
7. M/P調査期間	早くても15～20年は必要。 図面・資料等の提供をお願いする。本格調査は87年12月頃となる。また調査完了は89年5月頃を予定したい。	M/P調査に要する期間はどの位いか。 調査に長時間を費すと地元感情を害することになる。1年位で終わらないか。	パキスタン側 不満としながらも調査団の意見に同意する。

#### 4-3 カウンターパート機関と総合調整

M/P調査を実施するに当たり、ネパール政府の関係機関はMPLD、農業省・道路省等が関係する。

ネパール政府はルンビニ地域の農村総合開発を担当する機関としてMPLDを指定しており、これがカウンターパート機関となる。

しかし、MPLDは比較的小さなプロジェクト（飲料水：人口1,500人以下、かんがい：面積50ha以下）を対象としているため、大規模なプロジェクトになると、それぞれの省庁

の権限となる。

このため、当地域のマスタープラン調査を円滑に実施するためには政府関係機関との調整が必要となる。

調査団はMPLDが総合調整機能を保有し、必要に応じて関係機関との調整会議を開催するよう申し入れた。

これに対しMPLDは既存の調整会議を活用し、必要に応じて中央及び地方において調整会議を開催することを約束した。なお、この会議には、日本側のコンサルタントチームも参加できるようにした。

(注) MPLD=Ministry of Panchayat and Local Development

#### 4-4 討議々事録の概要

調査団はネパール側の代表(MPLD)と、今後のM/P Studyについて議論した。その主な内容と同意した事項を確認するため下記の議事録を取りかわした。

#### 記

1. 調査対象地域は次の4郡(Districts)をカバーする。
  - (1) GULNMI
  - (2) ARGHAKHANCHI
  - (3) KAPILVASSTU
  - (4) RUPANDEHIの一部
2. ネパール側は次のS/W調査までに、上記4郡からそれぞれのモデル地区を選定する。
3. 農村総合開発計画はその代表地区の範囲で実施され、他の地域のモデルとなるものであり波及効果を期待する。
4. M/P studyの基本構想は別添資料1のとおりである。
5. M/P studyはできるだけ早く(1987年12月頃)スタートし、1985年5月までには最終レポートを完成させる予定とする。
6. 調査を円滑に進めるため、MPLDは中央及び地方において関係省庁で構成する調整会議を必要に応じて開催する。この会議には日本側の調査チームも参加できることとする。

面会者リスト

Ministry of Panchayat and Local Development

Mr. S.B. RAI  
Secretary,

Mr. B.B. KOIRALA  
Joint Secretary,

Mr. S.P. ADHIKARI  
Joint Secretary,

Mr. Y.N. OJHA  
Joint Secretary,

Mr. B.M. KAYASTHA  
Joint Secretary,

Mr. S.P. ACHARYA  
Joint Secretary,

Mr. G.N. SHARMA  
Joint Secretary,

Mr. M.B. SIJAPATI  
Under Secretary,

Mr. H. KHAREL  
Under Secretary,

Mr. B. SILWAL  
Under Secretary,

Mr. R.P. SHARMA  
Under Secretary,

Mr. M.P. SHARMA  
Under Secretary,

Mr. T.B. GONGH  
Under Secretary,

Mr. D. PANT  
Section Officer,

Mr. R.P. SHRESTHA  
Section Officer

Mr. M. SHRESTHA  
Section Officer,



Ministry of Agriculture

Mr. R. B. SINGH  
Joint Secretary,

Ministry of Finance

Mr. P. P. DAHAL  
Joint Secretary,

Mr. T. NEUPANE  
Under Secretary,

Mr. M. ADHIKARI  
Section Officer,

Ministry of Foreign Affairs

Mr. Y. K. SILWAL  
Joint Secretary,

Department of Roads

Mr. A. M. TULADHAR  
Superintendent Engineer,

JICA IN NEPAL

Mr. T. AYUKAWA  
Deputy Resident Representative

Mr. M. SUGIMOTO  
Asst. Resident Representative

Mr. S. BHATTACHAN

Mr. K. SHRESTHA

EMBASSY OF JAPAN

Mr. T. MUROMOTO  
Second Secretary,

面会者リスト(現地調査時)

1. Rupandehi District

(1) LDO Office

Kailash N. Gongal, Agri. Development Office  
Mahondna B. Pradhonang, District Engineer, Road Dept.  
Ram. Kumar Shrestha, Agr. Devel. Bank/N  
Prem Narayan Bhandari, Marchwar, Lift Irrigation Project  
M. B. Goashan, Marchwar, Lift Irrigation Project  
Kedar, Bdr Shresth, Fisheries Devel. Center  
Birendra, Pd. Yadau, Agr. Devel. Officer  
Chatra Pati Malle, President  
Paras N. Yadau, Vice President  
Maha Prasad Bhandari, LDO.  
Mokhrel Moka, Planning Officer

(2) Marchwar Irrigation Project

P. N. Bhandari

(3) Zonal Commissioner

L. K. Cureeng, Zonal Commissioner (Butwal)

2. Kopilvastu District.

(1) LDO Office (Banganga Irrigation Project Guest house)


L. K. Shrestha, Branch Manager. ADB/N  
JPN Singh, Asst. Agronomist Ag. Devel. Office  
B. B. Pandey, Asst. Fisheries Officer  
Soresh Acharya, Engineer Dist. Tech. Office  
B P Shan, District President


3. Pokhara

Udaya Raj Sole, Local Development Director  
Ram Hari Sharma, Regional Agr. Directorate  
Pandey, Panchat Training Center.

Minutes of Meeting  
on  
the Master Plan Study  
on  
the Integrated Rural Development Project  
in  
the Lumbini Zone

Kathmandu June 03, 1987.

  
-----  
Mr. B.B. Koirala  
Additional Secretary  
Ministry of Panchayat  
HMG/Nepal

  
Mr. Hajime TAKEUCHI  
Leader of the Mission  
Japan International Cooperation  
Agency

In response to the request of His Majesty's Government of Nepal (Herein after referred to a "HMG/N") for a Master Plan Study on Integrated Rural development in Lumbini Zone, (Herein after referred to as the M/P study), the Government of Japan decided to dispatch through Japan International Cooperation Agency (Herein-after referred to as "JICA") responsible for the implementation of technical cooperation programmes of the Government of Japan, the contact mission headed by Mr. Hajime TAKEUCHI to Nepal from May 24 to June 05, 1987 so as to discuss and exchange views on the M/P study with authorities concerned to Nepalese sides. The following Minutes were prepared to confirm the main issues discussed and matters agreed upon by both sides in connection with the conducting M/P study.

1. Study area covers four (4) districts, that is Gulmi, Arghakhanchi, Kailashvatu and a part of Rupendehi e.g. Marchawar region.
2. A representative area will be chosen from each district in four of the above mentioned districts by Nepalese side before exchanging signature on the scope of work (S/W).
3. Integrated Rural Development Projects will be formulated within the representative areas as model for similar areas of the districts
4. Basic concept of the M/P study will be as elaborated in the paper I Attached herewith.
5. The M/P study is expected to study as early as possible (Possibly from December 1987) and completing the study Report by May 1989 tentatively.
6. Coordination meeting (at central, regional and district levels shall be convened as per requirement for smoothly conducting the study with the team and other concerned ministries by MPLD.
7. A standard form of S/W will be as elaborated in the paper II attached herewith.

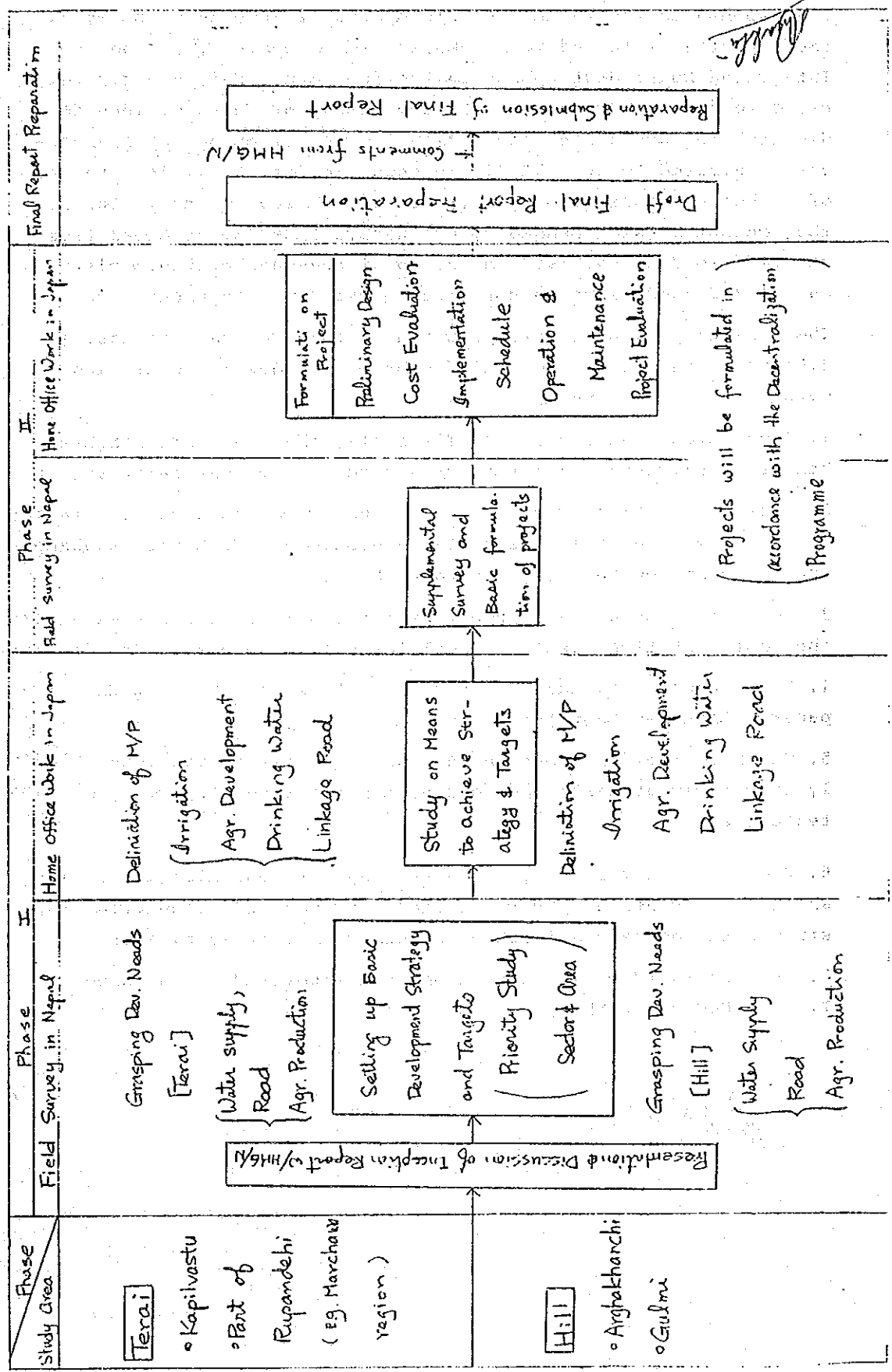
*B. K. B. K.*

*(HJ)*

(14)

Basic Concept of the H/P Study

Methodical Paper I



*(Handwritten signature)*

Attached paper II

SCOPE OF WORK  
FOR  
THE MASTER PLAN STUDY  
ON  
THE INTEGRATED RURAL DEVELOPMENT PROJECT  
IN  
THE LUMBINI ZONE

AGREED UPON BETWEEN  
HIS MAJESTY'S GOVERNMENT OF NEPAL  
AND  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Kathmandu 1987.

-----  
Official  
Additional Secretary  
Ministry of Panchayat and  
Local Development HMG/N

-----  
Team Leader  
Preliminary Surey Team  
JICA

*Bekto*

(14)

## I. INTRODUCTION

In response to the request of His Majesty's Government of Nepal (Hereinafter referred to as "HMG/N"), the Government of Japan has decided to implement the Master Plan Study for the Integrated Rural Development Project in the Lumbini zone (hereinafter referred to as "the Study"), in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the Government of Japan, will undertake the Study, in close cooperation with the authorities of HMG/N. The present document sets forth the Scope of Work with regard to the Study.

## II OBJECTIVE

### III OUTLINE OF THE STUDY

1. Study Area
2. Scope of work



(145)

IV. WORK SCHEDULE

The Study will be executed in accordance with article 5 of the minutes <sup>(tentative)</sup> work schedule.

V. REPORTS

JICA shall prepare and submit following reports in English to the HMG/N

(1) Inception report

(2) Field report

(3) Interim report

(4) Draft final report

(5) Final report.

*Handwritten signature*

(HJ)



VI. UNDERTAKING OF HMG/N

1. To facilitate smooth conduct of the Study, HMG/N shall take necessary measures;

(1) To secure the safety of the Japanese study team,

(2) To permit the members of the Japanese study team to enter, leave and sojourn in the Kingdom of Nepal for the duration of their assignment therein, and exempt them from alien registration requirements and consular fees,

(3) To exempt the members of the Japanese study team from taxes duties, fees and other charges on equipment, machinery and other materials brought into the Kingdom of Nepal for the conduct of the Study,

(4) To exempt the members of the Japanese study team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any enrolment or allowances;

paid to the members of the Japanese study team for their services in connection with the implementation of the Study,

(5) To bear claims, if any arises, against the members of the Japanese study team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or wilful misconduct on the part of the members of the Japanese study team,

(6) To secure permission for entry into private properties or geographically restricted areas for the conduct of the study

(7) To secure permission for the Study Team to take all data and documents related to the Study including photographs and maps out of the Kingdom of Nepal to Japan by the Japanese study team,

(8) To provide medical services as needed. Its expense will be chargeable on the members of the Japanese study team,  
and,

*Devi*

(195)

(9) To provide, at its own expense, the Japanese study team with the followings:-

- 1) Available data and information related to the Study
  - 2) Counterpart personnel
  - 3) Suitable office with necessary equipment and furniture in Kathmandu and Project sites
  - 4) Credentials or identification cards
  - 5) Permission for use of radio communication (Walkie Talkie)
2. Ministry of Panchayat and Local Development (hereinafter referred to as "MPLD") act as the counterpart agency to the Japanese study team and also as the coordinating body to other relevant organizations for the smooth conduct of the Study.

VII. UNDERTAKING OF JICA

For the conduct of the Study, JICA shall take the following measures;

1. To dispatch, at its own expenses, the study team
2. To pursue technology transfer to the HMG/N's counterpart personnel in the course of the Study.
3. To provide the equipment and machinery for the conduct of the Study, which will remain the property of JICA unless otherwise agreed upon.

VIII. JICA and MPLD will consult with each other in respect to any other matter that is not agreed upon in this document and may arise from or in connection with the Study.





番号	資 料 の 名 称	部数
1	CLIMATOLOGICAL RECORDS OF NEPAL (1983-1984, VOLUME I)	1
2	APPRAISAL OF THE COMMAND AREA DEVELOPMENT PROJECT IN NEPAL (NOVEMBER 1981)	1
3	REPORT OF THE UNDP PROJECT FORMULATION MISSION FOR THE INTEGRATED RURAL DEVELOPMENT PROGRAMME IN THE LUMBINI ZONE (2-1986)	1
4	PROJECTS DEMANDED BY LOCAL PANCHAYATS FOR SEVENTH FIVE YEAR PLAN PERIOD (1985-1990)	1
5	REPORT OF THE UNDP PROJECT IDENTIFICATION MISSION FOR THE INTEGRATED RURAL DEVELOPMENT PROGRAMME IN THE LUMBINI ZONE	1
6	CLIMATOLOGICAL RECORDS OF NEPAL (1976-1984, SUPPLEMENTAL DATA VOLUME II)	1
7	INTEGRATED RURAL DEVELOPMENT PROJECTS IN NEPAL -REVIEW-	1
8	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (PALPA, GULMI, ARGHAKHANCHI, RUPANDEHI & SYANGJA DISTRICT 1:50,000)	3
9	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (KAPILBASTU and RUPANDEHI DISTRICT 1:50,000)	6
10	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (ARGHAKHANCHI, KAPILBASTU, PYUTHAN RUPANDEHI & GULMI DISTRICTS 1:50,000)	3
11	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (GULMI & BAGLUNG DISTRICT 1:50,000)	3
12	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (GULMI, ARGHAKHANCHI, PYUTHAN & BAGLUNG DISTRICT 1:50,000)	3
13	FAR WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (PYUTHAN, ROLPA & ARGHAKHANCHI DISTRICT 1:50,000)	3

番号	資 料 の 名 称	部数
1 4	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (NAWALPARASI & RUPANDEHI DISTRICT 1:50,000)	3
1 5	FAR WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (ARGHAKHANCHI, PYUTHAN, DANG & KAPILBASTU DISTRICT 1:50,000)	3
1 6	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (RUPANDEHI DISTRICT 1:50,000)	3
1 7	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (KAPILBASTU DISTRICT 1:50,000)	5
1 8	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (PALPA SYANGJA and GULMI DISTRICT 1:50,000)	3
1 9	WESTERN DEVELOPMENT REGION 地図 (BAGLUNG, PYUTHAN, GULMI & MYAGDI DISTRICT 1:50,000)	3
2 0	" " " " (BAGLUNG and MYAGDI DISTRICT 1:50,000)	3
2 1	" " " " (PARBAT, BAGLUNG, GULMI and SYANGJA DISTRICT 1:50,000)	3
2 2	" " " " (RUPANDEHI and PALPA DISTRICT 1:50,000)	3
2 3	" " " " (DANG and KAPILBASTU DISTRICT 1:50,000)	4
2 4	" " " " (NAWALPARASI and CHITAWAN DISTRICT 1:50,000)	1
2 5	FAR WESTERN DEVELOPMENT REGION (DANG, KAPILBASTU and PYUTHAN DISTRICT 1:50,000)	2
2 6	WESTERN DEVELOPMENT REGION (RUPANDEHI, NAWALPARASI & PALPA DISTRICT 1:50,000)	1
2 7	KATHMANDU CITY 1:10,000 8Colours 地図	1
2 8	THE MAHA MAP OF KATHMANDU (SHOPPING MAP)	1
2 9	NEPAL Scale 1:750,000 地図	2

番号	資料の名称	部数
3 0	APA MAPS NEPAL 1:50,000 地図	1
3 1	NEPAL MAP II (WESTERN SHEET) 地図	1
3 2	" (EASTERN SHEET) 地図	1
3 3	THE SEVENTH PLAN (1985-90) AT A GLANCE	1
3 4	BASIC INFORMATION OF THE DISTRICT-2043- 地図	1
3 5	DEFORESTATION IN WESTERN TERAJ 1:500,000 地図	1
3 6	DEFORESTATION IN CENTRAL TERAJ 1:500,000 地図	1
3 7	DEFORESTATION IN EASTERN TERAJ 1:500,000 地図	1
3 8	FAR WESTERN DEVELOPMENT REGION CLIMATOLOGICAL MAP (POKHARA) 1:250,000	1
3 9	MID WESTERN DEVELOPMENT REGION CLIMATOLGICAL MAP (TANSEN) 1:250,000	1
4 0	FAR WESTERN DEVELOPMENT REGION GEOLOGICAL MAP 1:125,000	2
4 1	WESTERN DEVELOPMENT REGION GEOLOGICAL MAP 1:125,000	3
4 2	SYURAJ KHAJHANI DISTRICT 地形図	2
4 3	PALHI MAJHKHAND AND PALPA DISTRICT 地形図	2
4 4	DANG, DEUKHURI, GULMI, PYUTHAN, SALLYAN AND SYURAJ KHAJHANI DISTRICT 地形図	1
4 5	GULMI, PALPA, PALHI MAJHKHAND AND SYURAJ KHAJHANI DISTRICT 地形図	1
4 6	GULMI, PALPA, PYUTHAN AND SYURAJ KHAJHANI DISTRICT 地形図	1
4 7	DANG DEUKHURI AND SYURAJ KHAJHANI DISTRICT 地形図	1
4 8	GULMI, PALPA AND WEST No.4 DISTRICT 地形図	1
4 9	BAGLUNG, GULMI AND PYUTHAN DISTRICT 地形図	2
5 0	PALHI MAJHKHAND DISTRICT 地形図	2
5 1	PALHI MAJHKHAND AND SYURAJ KHAJHANI DISTRICT 地形図	1
5 2	BAGLUNG & GULMI DISTRICT 地形図	1
5 3	地図 1:125,000	4









JICA